

# 2026年運輸安全マネジメント

## 『改 進』

～役職員全員が共通意識を持ち、次なるステージに向け改めて進む～

株式会社トツキョウ

### 1. 事故防止のための安全方針

1. 運送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識する
2. 安全マネジメントを確実に実施し、全社員一丸となって業務を遂行する事により、絶えず輸送の安全性の向上に努める
3. 輸送の安全に関する情報について、積極的に公表掲示する

### 2. 社内への周知方法

1. 毎日の朝礼時・営業所会議・乗務員教育、指導時に法令順守・人命第一を社員に周知する

### 3. 安全に基づく目標

1. 自動車事故を年間0件にする
2. 物損事故を年間0件にする
3. 労 災 事 故を年間0件にする
4. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故件数を年間0件にする

### 4. 目標達成のための施策

1. デジタルタコグラフ及び指導によるスピード管理を行う
2. アルコール検知器及び点呼時による健康管理を行う
3. 労務管理により時間管理・過重労働を防止する
4. 車両整備等の記録を残し、整備・運行管理者がチェックする
5. 乗務員教育(ヒヤリハット・KYT含)を月1回実施する
6. 乗務員への事故削減を目的とした研修会を年30時間実施する
7. 安全衛生委員会・安全委員会による内部監査を含む会議を月1回実施する
8. 社内・社外の安全パトロールを月1回実施する
9. 外部機関への研修に参加する

### 5. 安全に関する情報交換方法

1. 事務所内掲示、点呼・朝礼・終礼時に情報共有を行う
2. HPへの掲載等により、外部へ公表する
3. 朝礼・終礼時にヒヤリハット報告を行う

### 6. 事故に関する情報

1. 発生時、社内の事故速報に基づいて緊急連絡網で伝達する
2. 自店、他店にかかわらず事故報告に基づき安全委員会を開催し、状況把握・発生原因・改善等を話し合う

### 7. 昨年の実績(2025.1.1～2025.12.31)

	目標	実績	評価	原因等
自動車事故	0 件	1 件	B	前方不注意・思い込み運転
物 損 事 故	0 件	3 件	C	安全に対する確認不足
労 災 事 故	0 件	0 件	A	
自動車事故報告規則 第2条に規定する事故	0 件	0 件	A	

	目標	実績	評価	原因等
デジタルタコグラフ及び指導によるスピード管理を行う	通年	通年	A	
アルコール検知器及び点呼時による健康管理を行う	通年	通年	A	
労務管理により時間管理・過重労働を防止する	通年	通年	A	
車両整備等の記録を残し、整備・ 運行管理者がチェックする	通年	通年	A	
乗務員教育(ヒヤリハット・KYT含)を実施する	12回/年	12回/年	A	
乗務員への事故削減を目的とした研修会を実施する	30時間/年	30時間/年	A	
安全衛生委員会・安全委員会による内部監査を含む 会議を実施する	12回/年	12回/年	A	
社内・社外の安全パトロールを実施する	12回/年	12回/年	A	
外部機関への研修に参加する	1回/年	1回/年	A	

※改善すべき指摘事項が発生した場合は速やかに安全会議を開催し、是正又は予防措置を行う



2026年1月5日

代表取締役社長 工藤 真也  
大阪営業所所長 池田 多加志